

行政視察報告

委員 会 名	広報特別委員会	
委 員 名	[委員長] 廣瀬 孝人 [副委員長] 西村 好高 [委員] 柿迫 正紀 [委員] 谷尻 昌史 [委員] 川勝 儀昭	
視 察 先	千葉県船橋市	東京都あきる野市
視 察 日 時	H28. 1. 27 (水) 午後2時～4時	H28. 1. 28 (木) 午前10時～正午
調 査 事 項	議会広報の編集について	議会広報の編集について
教 示 内 容 等 (抜粋)	<p>船橋市では、広報委員会を「常任委員会」として熱心に広報広聴活動を行っておられます。広報紙については、25年第1回定例会から、タブロイド版をA4版にサイズ変更して全面リニューアルが行われました。特集ページを新設し、閉会中の活動も掲載するなど、より見やすいレイアウトになっています。また、紙面のフルカラー化や表紙写真の一般募集を行い、身近な広報紙とする為の工夫をされています。</p> <p>広報紙の発行以外にも、小中学生を対象とした議会見学会や委員会のインターネット中継を行ったり、LINE（ライン）やTwitter（ツイッター）を活用した広報も実施されています。身近な船橋市議会を目指した様々な取り組みは、本市としても参考にすべき点が多くありました。</p>	<p>あきる野市では、「手にとってもらう表紙づくり」、「気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」を目標に、平成25年2月1日発行分の議会だよりから紙面の全面リニューアルが行われました。号ごとに特集や表紙を変えてターゲットを絞り、子どもからお年寄りまでの幅広い世代に読んでもらう為の工夫をされています。紙面の読みやすさは、自然に読み進められる導線、ホワイトスペース（余白）、統一感を持たせてあることだとわかりました。議案審議や一般質問のページも読んでもらえるように、行政用語を「通じる言葉」にして情報量の見直しも行われています。伝えたい量と伝わる量は違うということから、記録としての冊子ではなく、読んでもらうための冊子となっていることが特徴的でした。リニューアルが成功した背景には、何よりも議会報をより良くしようとする姿勢や熱意の上にあることがわかり、学ぶべき点が多い視察となりました。</p>
写 真		